

第6期幸区区民会議第14回専門部会 ～魅力発信でつなぐ まちの活性化部会～ 議 事 次 第

日時 2018年1月30日（火）18時半から
場所 幸区役所4階第2会議室

1 開会

2 議題

- (1) 提言内容の確認について
- (2) 「第5回区民会議」報告内容等の検討について
- (3) 区民会議フォーラム取組紹介パネルの確認について

3 その他

4 閉会

《配布資料》

- 資料1 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ
資料2-1 魅力発信でつなぐ まちの活性化部会からの提言（案）
資料2-2 魅力発信でつなぐ まちの活性化部会からの提言（案）（見え消し版）
資料3 第6期幸区区民会議（第5回）における部会報告内容について（案）
資料4 区民会議フォーラム取組紹介パネルレイアウト（案）
資料5 第6期区民会議フォーラム実施案

参考資料1 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて

参考資料2 第13回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）会議録

参考資料3 第6期幸区区民会議委員・参与名簿

《第14回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）獲得目標》

- ・提言内容の確認
- ・「第5回区民会議」報告内容等の検討

「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ

年度	月日	会議名	会議の獲得目標
2016年度	7月28日	第1回区民会議	
	10月5日	第1回部会	・審議テーマの選定 ・正副部会長の選出 ・部会名の検討
	10月27日	第2回部会	・部会名の決定 ・今後の取組の方向性の決定
	11月24日	第2回区民会議	
	12月15日	第3回部会	・今後の調査内容、方法の確認
	1月31日	第4回部会	・地域資源の調査に向けた調査項目及び調査当日の役割分担等の決定
	2月27日	第5回部会	・第5回部会までに実施した調査実施状況の振り返り ・「第3回区民会議」報告内容等の検討
	3月21日	第3回区民会議	《調査審議状況の報告》
2017年度	4月25日	第6回部会	・地域資源の調査結果の検証① ・今後の調査についての確認①
	5月26日	第7回部会	・地域資源の調査結果の検証② ・発信していく地域の魅力についての確認① ・今後の調査についての確認②
	6月27日	第8回部会	・現地調査結果の検証 ・発信していく地域の魅力についての確認②
	8月1日 (火)	第9回部会	・発信していく地域の魅力についての確認③ ・発信に向けた調査についての確認① ・「第4回区民会議」報告内容等の検討
	9月7日 (木)	第4回区民会議	《調査審議状況の報告》 ・調査内容及び実施状況の中間報告
	9月19日 (火)	第10回部会	・発信していく地域の魅力についての確認④ ・区民祭におけるヒアリング調査についての確認
	10月17日 (火)	第11回部会	・区民祭におけるヒアリング調査の振り返り ・魅力の発信方法の検討① ・提言内容の検討①(提言の論点)
	11月21日 (火)	第12回部会	・魅力の発信方法の検討② ・提言内容の検討②(提言素案) ・フォーラム実施内容の検討①
	12月19日 (火)	第13回部会	・提言内容のとりまとめ(提言案) ・フォーラム実施内容の検討②
	1月30日 (火)	第14回部会	・提言内容の確認 ・「第5回区民会議」報告内容等の検討
	2月20日 (火)	第5回区民会議	《調査審議状況の報告》 ・部会提言内容の報告、区民会議フォーラムの実施内容の確認
	3月3日 (土)	第6期幸区区民会議フォーラムの実施	
2018年度	4月・5月	報告書のとりまとめ	
	6月	区長へ報告書の提出	

魅力発信でつなぐ まちの活性化部会からの提言（案）

◎地域の魅力発信

提言1：まちの活性化につなげるため、幸区に愛着を持ち、住み続けてもらえるように、30、40歳代の子育て世代を中心に「充実した『子育て環境と支援、文化・商業』が身近にある最幸のまち・幸」という魅力が伝わるよう発信することを提案します。

《趣旨》

- まちを活性化するためには、区民が区に愛着を持ち、住み続けてもらうことが大切です。そのためには、区の魅力（地域資源）を発信することが有効であると考えます。
- 全ての年代の区民に魅力が伝わるのが大切ですが、より効果的な発信を行うために、特に30、40歳代の子育て世代にターゲットを絞ることが考えられます。また、30、40歳代にPRすることにより子どもや、親世代にも広がるのが期待できます。
- 発信する魅力について、部会で子育て世代を対象としたアンケート調査やヒアリング調査を実施した結果、以下の3つが区民にとっての大きな魅力であることが分かりました。
- 1つ目は、「子育て環境」が充実していることです。区には、夢見ヶ崎公園（加瀬山）、南河原公園、御幸公園といった大きな公園が3つあるほか、子どもに人気の遊び場なども充実しています。また、市民グループが実施している「おでかけぽかぽか」など、市民と行政の協働により子どもが思いっきり遊べる場所が提供されています。
- 2つ目は、「子育て支援」が充実していることです。幸区は地域コミュニティや世代間交流が活発で、地域で子育てを助け合う風潮があり、たくさんの地域住民やボランティア、民生委員児童委員、社会福祉協議会等の協力があることや、地域子育て支援センターやこども文化センターなどにおいて、子育て相談や父親向けの子育て支援などを積極的に行っているなど、恵まれた子育て支援環境が整っています。
- 3つ目は、「文化・商業」が充実していることです。区にはミュージア川崎や東芝未来科学館など、一流の文化や先端的な科学に触れ合える場が身近にあります。また大型の商業施設が充実しているなど、生活の利便性が非常に高く、ターミナル駅である川崎駅や、新川崎駅があることから都心への交通アクセスも充実しています。さらに小向の獅子舞など地域の伝統も残っており、都会的な地域でありながら、昔ながらの文化も大切にされています。
- 上記のような充実した「子育て環境」、「子育て支援」、「文化・商業」という3つの魅力の要素が身近にあることを発信することで、ターゲットに区に愛着を持ってもらえるものと考えます。

提言２：ターゲットに伝わるように様々な媒体を使った、地域目線での魅力発信を行うことを提案します。

《趣旨》

- 魅力を効果的に伝えるためには、ターゲットの目線に立ち、魅力発信の媒体、魅力発信の主体、発信するコンテンツなど、様々な工夫をする必要があると考えます。
- 魅力発信の媒体については、SNSやHP等の電子媒体による発信と広報誌・情報誌・チラシ等の紙媒体による発信の大きく2つに分かれますが、それぞれにメリット、デメリットがあるため、紙媒体と電子媒体をうまく関係させながら発信するべきと考えます。例えば区の魅力をまとめた冊子等を作成し、それをSNSやHPで拡散することなどでより効果的な魅力発信ができると考えます。
- 魅力発信の主体について、行政だけでは発信できる内容に多様性を欠く懸念や、地域の多彩で細かなニーズをとらえることに課題があります。このような課題を解決し、地域の活性化につながるような魅力発信を行うためには、地域住民の協力を得ることが重要になると考えます。
- 発信するコンテンツについては、提言１で挙げた３つの魅力をメインに発信するべきと考えますが、それ以外にも、ターゲットのニーズに合った、読んで楽しく、現地に行きたくなるようなタウン情報なども掲載をすることで、より魅力的な発信ができると考えます。
- さらに、発信媒体のデザインや発信する場所・方法の工夫を図ることで、発信した情報がより受け取りやすくなると考えます。

提言３：地域住民が中心となり、行政と協働し、魅力発信を継続的に行える主体を形成することを提案します。

《趣旨》

- 魅力発信は、継続して行わなければ、ターゲットに届かなくなってしまう。区内の身近な情報・魅力を継続して発信するためには、常に新しい情報を集めたり、取材を行ったりする必要があり、そのためには、恒常的に魅力を発信できる主体が必要であると考えます。
- 魅力発信の主体については、提言２でも挙げたとおり、行政だけではなく、地域住民が参加する必要がありますが、区内には市民活動として区の魅力を広報している人や文化活動をしている人、子育て支援活動を行っている人など、豊富な人材があり、このような人たちから有志を募って発信主体を形成することなどができるのではないかと考えます。
- また、情報を効果的に発信するためには、情報発信のノウハウを持っているタウン誌等の発行会社のほか、地域で事業を行っている企業などにも協力してもらうことも有効であると考えます。
- このように、地域住民が中心となった発信主体によって、行政と協働して継続的に区の豊富な魅力を発信していくことにより、区に愛着を持ってもらうことができ、まちの活性化にもつながっていくものと考えます。

魅力発信でつなぐ まちの活性化部会からの提言（案）

◎地域の魅力発信

提言 1：まちの活性化につなげるため、幸区に愛着を持ち、住み続けてもらうためにえるように、30、40歳代の子育て世代に対してを中心に「充実した『子育て環境と支援、文化・商業』が身近にある最幸のまち・幸」という魅力をが伝えるよう発信することを提案します。

《趣旨》

- まちを活性化するためには、区民に幸区に愛着を持ってもらい、住み続けてもらうことが大切です。そのためには、区の魅力（地域資源）を発信することが有効であると考えます。
- 魅力を発信する対象は幸区民ですが全ての年代の区民に魅力が伝わることが大切ですが、より効果的な発信を行うために、特に30、40歳代の子育て世代にターゲットを絞ることが考えられます。また、30、40歳代にPRすることにより子どもや、親世代にも広がることを期待できると考えます。
- 発信する魅力について、部会で子育て世代を対象としたアンケート調査やヒアリング調査を実施した結果、以下の3つが区民にとっての大きな魅力であることが分かりました。
- 1つ目としては、「子育て環境」が充実していることが挙げられますです。区には、夢見ヶ崎公園（加瀬山）、南河原公園、御幸公園といった大きな公園が3つあるほか、子どもに人気の遊び場なども充実しています。また、市民グループが実施している「おでかけぼかぼか」など、市民と行政の協働により子どもが思いっきり遊べる場所が提供されています。
- 2つ目としては、「子育て支援」が充実していることが挙げられますです。幸区は地域コミュニティや世代間交流が活発で、地域で子育てを助け合う風潮があり、たくさんの地域住民やボランティア、民生委員児童委員、社会福祉協議会等の協力があることや、地域子育て支援センターやこども文化センターなどにおいて、子育て相談や父親向けの子育て支援などを積極的に行っているなど、恵まれた子育て支援環境が整っています。
- 3つ目としては、「文化・商業」が充実していることが挙げられますです。区にはミュージア川崎や東芝未来科学館など、一流の文化や先端的な科学に触れ合える場が身近にあります。また大型の商業施設が充実しているなど、生活の利便性が非常に高く、ターミナル駅である川崎駅や、新川崎駅があることから都心への交通アクセスも充実しています。さらに小向の獅子舞など、地域の伝統も残っており、都会的な地域でありながら、昔ながらの文化も大事にされています。
- 上記のような、充実した「子育て環境」、「子育て支援」、「文化・商業」という3つの魅力の要素が身近にあることを発信することで、ターゲットに幸区に愛着を持ってもらえるものと考えられます。

提言 2：ターゲットに伝わるように様々な媒体を使った、地域目線での魅力発信を行うことを提案します。

《趣旨》

- 魅力を効果的に伝えるためには、ターゲットの目線に立ち、魅力の発信の媒体、魅力の発信の主体、発信するコンテンツなど、様々な工夫をする必要があると考えます。
- 魅力の発信の媒体については、SNSやHP等の電子媒体による発信と広報誌・情報誌・チラシ等の紙媒体による発信の大きく2つに分かれると考えますが、それぞれにメリット、デメリットがあるため、紙媒体と電子媒体をうまく関係させながら発信するべきと考えます。例えば~~メインとなる~~区の魅力をまとめた冊子等を作成し、それをSNSやHPで拡散することなどでより効果的な魅力発信ができると考えます。
- 魅力の発信の主体について、行政だけでは発信できる内容に多様性を欠く懸念や、地域の多様多彩で細かなニーズをとらえることに課題があります。このような課題を解決し、地域の活性化につながるような魅力発信を行うためには、地域住民の協力を得ることが重要になると考えられます。
- 発信するコンテンツについては、提言1で挙げた3つの魅力をメインに発信するべきと考えますが、それ以外にも、ターゲットのニーズに合った、読んで楽しく、現地に行きたくなるようなタウン情報なども掲載をすることで、より魅力的な発信ができると考えられます。
- さらに、発信媒体のデザインや発信する場所・方法の工夫を図ることで、発信した情報がより受け取りやすくなると考えられます。

提言３：地域住民が中心となり、行政と協働し、魅力発信を継続的に行える発信主体を形成することを提案します。

《趣旨》

- 魅力発信は、継続して行わなければ、ターゲットに届かなくなってしまうと考えいます。区内の身近な情報・魅力を継続して発信するためには、常に新しい情報を集めたり、取材を行ったりする必要があり、そのためには、恒常的に魅力を発信できる主体が必要であると考えます。
- 魅力発信の主体については、提言２でも挙げたとおり、行政だけではなく、地域住民が参加する必要がありますが、区内には市民活動として区の魅力を広報している人や文化活動をしている人、子育て支援活動を行っている人など、豊富な人材があり、このような人たちから有志を募って発信主体を形成することなどができるのではないかと考えます。
- また、情報を効果的に発信するためには、情報発信のノウハウを有して持っているタウン誌等の発行会社の他ほか、地域で事業を行っている企業などにも協力してもらうことも有効であると考えます。
- このように、地域住民が中心となった発信主体によって、行政と協働して継続的に区の豊富な魅力を発信していくことにより、区に愛着を持ってもらうことができ、まちの活性化にもつながっていくものと考えます。

第 6 期幸区区民会議（第 5 回）における部会報告内容について（案）

1 報告の内容骨子

(1) 効果的な情報発信方法について

幸区民祭でのヒアリング調査や、他都市事例を参考にした効果的な情報発信方法の検討内容について報告する。

(2) 部会からの提言内容について

部会における調査審議を基にした提言の内容について報告する。

2 報告者

《報告者》 _____ 委員

※報告内容は第 4 回企画運営会議（2 月 13 日（火）18:30～）でご説明します。

第 6 期幸区区民会議フォーラム実施案

1 目的

幸区区民会議での取組や提言内容等を報告し、地域の課題解決に向けて、より一層の区民の参加と協働を図るため、「幸区区民会議フォーラム」を開催する。

2 実施日時

平成 30 年 3 月 3 日（土）13:00～16:00 （「市民活動交流イベント」と同日開催）

3 会場

幸区役所 1 階

4 内容

(1) 区民会議の取組紹介・第 6 期幸区区民会議提言発表

ア 場所 ステージ

イ 時間 13:30～14:30

ウ 進行表

時刻	所要 時間	内容	担当(司会:松井副委員長)
13:30	5分	・開会あいさつ ・区民会議制度紹介	成川委員長
13:35	5分	・第5期までの提言と取組説明	事務局
13:40	15分	・人にやさしい交通安全部会報告	阿部(法)A部会長
13:55	15分	・魅力発信でつなぐ まちの活性化部会報告	神谷B部会長
14:10	15分	・ディスカッション	成川委員長 阿部(法)A部会長 神谷B部会長
14:25	5分	・まとめ、閉会あいさつ	成川委員長

エ その他

ステージでの提言発表にあたり、会場内での議論が活発になるよう、歴代の幸区区民会議委員長経験者及び、審議テーマにかかわりがあり、提言の担い手となりうる団体を傍聴者として招く。

(2) ブース出展

ア 場所

出展・展示スペース

イ 時間

13:00～16:00

ウ 役割

(ア) パネル説明

前半（13:00～13:30、14:30～15:00）

担当： _____ 委員、 _____ 委員

後半（15:00～16:00）

担当： _____ 委員、 _____ 委員

(イ) シール投票補助

前半（13:00～13:30、14:30～15:00）

担当： _____ 委員

後半（15:00～16:00）

担当： _____ 委員

だい きさいわいくみんかいぎ すけじゅーる
「第6期幸区区民会議」スケジュールについて(2018(平成30)年1月30日時点)

さんこうしりょう
参考資料1

	2016年度(平成28年度)										2017年度(平成29年度)												2018年度 (平成30年度)	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4・5月	6月
区民会議 (全体会議)	7/28 第1回				11/24 第2回				3/21 第3回							9/7 第4回					2/20 第5回			
企画運営 会議					11/15 第1回				3/14 第2回						8/31 第3回						2/13 第4回			
人にやさしい交通安全部会 (A部会)			9/27 第1回	10/20 第2回		12/20 第3回		2/2 第4回	3/2 第5回		4/20 第6回	5/25 第7回	6/29 第8回	7/25 第9回		9/14 第10回	10/26 第11回	11/27 第12回	12/21 第13回	1/29 第14回				
	7/1 第6期幸区区民会議 議任期開始										第6期幸区区民会議フォーラムの実施													
魅力発信でつなぐ まちの活性化部会 (B部会)				10/5 第1回 10/27 第2回		12/15 第3回	1/31 第4回	2/27 第5回			4/25 第6回	5/26 第7回	6/27 第8回		8/1 第9回	9/19 第10回	10/17 第11回	11/21 第12回	12/19 第13回	1/30 第14回				
	平成28年度 まとめ										平成29年度 まとめ													
その他								2/6 交流会													2/2 意見 交換会			

6/30
第6期幸区区民会議
任期終了

報告書のとりまとめ
区長へ報告書の提出

提言内容の決定

第6期幸区区民会議フォーラムの実施

○提言内容の検討、とりまとめ
○フォーラム実施内容の検討

○調査等を踏まえた取組の検討
○実践的取組の検討・実施・検証

○調査結果の検証
○調査等を踏まえた取組の検討

○関係機関、現地調査の実施
○交通ルール・マナークイズの実施

○地域資源の調査結果の検証

○魅力発信に向けた情報発信手段の検討

○発信していく地域の魅力についての確認

○今後の取組内容の確認
○現状課題の把握

○関係機関への調査

○今後の調査内容、方法の確認
○地域資源の調査の実施

○正副部会長の選出
○審議テーマの選定
○部会名の決定
○取組の方向性の決定

○正副部会長の選出
○審議テーマの選定
○部会名の決定
○取組の方向性の決定

会 議 録

会議名称	第6期幸区区民会議 第13回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）
日 時	平成29年12月19日（火）18：30～19：30
会 場	幸区役所 4階第4会議室
出席者	●区民会議委員（50音順） 神谷修委員（部会長）、阿部稔子委員（副部会長）、伊藤善通委員、大野勝彦委員、佐野禎彦委員、高橋希委員、中原敏子委員、成川慎一委員（全体会議委員長）、松井節子委員（全体会議副委員長） ●事務局 幸区役所 田村副区長 幸区役所まちづくり推進部企画課 岸課長、吉岡課長補佐、安藤職員、中村職員（株）社会空間研究所 中島氏
欠席者	なし
傍聴者	なし
配布資料	●資料1 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ ●資料2 魅力発信でつなぐ まちの活性化部会からの提言（案） ●資料3 第6期区民会議フォーラム実施内容案 ●参考資料1 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて ●参考資料2 第12回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）会議録 ●参考資料3 第6期幸区区民会議委員・参与名簿 ●参考資料4 提言の素案 ●その他 チラシ「高齢・障害・地域福祉計画 区民説明会の開催」
議 題	（1）提言内容の検討について （2）フォーラム実施内容の検討について （3）その他

決定事項	(1) 提言内容の検討について ・提言(案)について、検討を行った。 ・出された意見を基に提言内容を修正する。 (2) フォーラム実施内容の検討について ・正副委員長と部会長以外に、阿部副部会長、大野委員が参加することで確認したが、フォーラム開催日まで時間があるため、参加者については改めて確認することとした。 ・傍聴者側に過去の区民会議に携わった委員長や関連団体に参加を呼びかけ、ディスカッションを行うこととした。 (3) その他 ・区民会議意見交換会の参加者が決定。 ⇒B部会では、成川委員長、松井副委員長、神谷部会長、阿部（稔）副部会長と伊藤委員が参加。 ⇒A部会では、阿部（法）部会長、小野副部会長が参加。
会議の内容 及び 主な発言	●事務局より会議資料を確認。 ●事務局より今後のスケジュールについて資料1を確認。 (1) 提言内容の検討について ●事務局より資料2「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会からの提言(案)」について説明をした。 ○出された意見を基に提言内容を修正することとした。 〈主な意見〉 ・全体的には、大変分かりやすく3つのポイントでまとまっていると思う。ベースとして、アンケート調査や現地調査でヒアリング等を積み重ねたうえでの提言だと思うが、提言1・2・3のどこかにアンケート、ヒアリングに基づく提言であるという一文を入れたほうが良い。 ・気になったのは、表現が被っている部分があることで、提言1の1行目で「つなげるため、住み続けてもらうため」というように、1つのセンテンスに同じような表現が重なるのは、避けた方が良い。 ・趣旨の最後の語尾に「考えます」と「考えられます」という2種類の表現をしているが、表現を統一したほうが良い。 ・提言1の四角の中の3行目、～最幸のまち・幸という「魅力を伝えるよう」とあるが、「魅力が伝わるよう」に修正が必要。 ・「30、40代」と「30、40歳代」の2種類の表現があるが、どちらかに統一すべきである。

- ・提言 1 の四角の中で、30、40 代に魅力を発信していくことは前提だと思うが、初めて提言を聞いた時に年配の方々が、「私達はいいのね」といった感覚を持つのではないか。他の世代にも広角的に伝わるような表現方法が良いのではないか。
- ・30、40 代の子育て世代に限定しているが、そこに「30、40 代等」のように付け加えた方が良いのではないか。

(2) フォーラム実施内容の検討について

●事務局より資料 3「第 6 期区民会議フォーラム実施概要案」について説明した。

○阿部副部長、大野委員が参加することとなった。

⇒フォーラム開催日まで時間があるため、他の出席者については改めて調整をすることとした。

〈説明の概要〉

- ・取組紹介の中で、「ウ 進行」の⑤ディスカッションであるが、提言の発表が盛り上がるように提言の担い手になる団体、B 部会であれば、子育て支援に関する団体や魅力を発信するような団体に協力をしていただいて、観客席にいらっしやうの際に提言に関する意見交換や何が出来るのか議論ができればよいと考える。A 部会であれば、幸区 PTA 協議会や交通安全対策協議会といった団体の方をお呼びして議論をかわす形が行えればと考える。
- ・第 5 期までの取組の説明を事務局で行うが、可能であれば過去に区民会議の委員長を経験された方、前期で言えば西野委員長にお越しいただいて、どういう取り組みをしてきたか、レスポンスしていただければと考えている。
- ・常設のブースの方は、13 時から 16 時の間でパネルを用いて説明、これまでの部会での調査審議状況の説明をお願いしたいと思っている。前回事務局として今後のコミュニティの在り方に向けたシール投票が出来ればということで提案し、内容についてはまだ白紙の状況であるが、補助という形でご協力を頂きたいと思う。
- ・1 時間半という枠でご参加いただく案だが、提言を発表する時間帯があるのでその時間には、ステージに上っていただくので、実質 1 時間ずつパネルの説明とシール投票が出来れば。委員で当日（3 月 3 日(土)）の 13 時から 16 時の間で参加できる方は、参加いただければと思う。
- ・今まで傍聴が寂しかったという意見もあったので、事務局の方からもお声かけをさせていただき、傍聴者の方と区民会議との間の意見交換が弾むように準備したいと思う。

〈主な意見〉

- ・正副委員長・部会長には、ご出席して頂いて、ブースの担当については、別途調整させていただく。

- ⇒過去の委員長を呼ぶ場合、出席される場合にどちら側に出るのか。
- ⇒（事務局）第6期の発表をするのがメインなので、傍聴者側に出席いただく。
- ・1時間の時間配分は、どう考えているのか。
- ⇒（事務局）A部会・B部会の報告がメインなので、15分ずつで30分。その後、ディスカッションを15～20分程度行うことを考えている。
- ・進行の①～⑥は、当日レジュメみたいな形で出すのか。タイトルが「区民会議の取組紹介」になっているが、メインは第6期の提言なので、そのキーワードをいれてほしい。
 - ・ディスカッションの15分の部分に成川委員長にも参加していただいて、手伝っていただきたい。

（３）その他

- 事務局より、区民会議意見交換会の参加者について確認した。
- ⇒その結果B部会では、成川委員長、松井副委員長、神谷部会長、伊藤委員が参加予定。阿部（稔）副部会長は、スケジュールを確認し調整する。（※阿部（稔）副部会長も参加することで、後日連絡あり。）
- ⇒A部会では、阿部（法）部会長、小野副部会長が参加予定。
- 事務局より「高齢・障害・地域福祉計画 区民説明会の開催」のお知らせの告知を行った。
- （説明の概要）
- ・市の総合計画を作ることと連動して、福祉系の事業計画を今後策定していくために区民の皆様への説明会を、1月26日（金）に幸区役所4階会議室で14時に開催をする。チラシ裏面に、この計画に関するパブリックコメント募集についても記載させていただいている。

以上

だい 6 き さいわいくく みん かい ぎ い ん さん よめ い ぼ
第6期幸区区民会議委員・参与名簿

【 委員(部会別、50音順) 】

ひと に や さ しい 交通 安全 部会 (A 部会) (あんぜん あんしん ひと 安全・安心で人にやさしいまちづくり)		
審議テーマ		
○交通安全対策の推進		
	し め い 氏名	す い せん だ ん たい こう ぼ く ち ェう す い せん 推薦団体・公募・区長推薦
1	あ お き はる ひ こ 青木 晴彦	さい わ い く し かい 幸区医師会
2	あ べ の り ひ ろ 阿部 法弘	さい わ い く き ェう ぎ かい 幸区PTA協議会
3	い い じ ま た だ お 飯島 忠男	こ う ぼ 公募
4	お の はる こ 小野 晴子	こ う ぼ 公募
5	か ね だ さ と み 金田 さとみ	さい わ い ぐ か い せ ん ぐ ち ェう かい 幸区子ども会連合会
6	ケオパサート ラツアミチャン	く ち ェう す い せん た ぶ ん か き ェう せい 区長推薦(多文化共生)
7	さ か ぐ ち い さ お 坂口 功	さい わ い く ろ う じ ん れ ん ぐ ち ェう かい 幸区老人クラブ連合会
8	し ぶ た に た み え 渋谷 多美枝	こ う ぼ 公募
9	た か は し み さ こ 高橋 美三子	さい わ い く ち ェう づ う あ ん ぜん た い さ く き ェう ぎ かい 幸区交通安全対策協議会
10	は し も と ふ み お 橋本 文夫	さい わ い か せ や ま かい さいわい加瀬山の会
11	み う ら た だ か ず 三浦 忠一	さい わ い く じ し ゅ ぼ う さい れ ん ら く き ェう ぎ かい 幸区自主防災連絡協議会

へい せい ね ん が つ に ち げ ん ざ い
平成29年10月1日現在

み り ェう けつ し ん 魅力 発信 で つ な ぐ ま ち の 活 性 化 部 会 (B 部 会) (さいわいく みりよくはっしん ちいき 幸区の魅力発信と地域コミュニティの活性化)		
審議テーマ		
○地域の魅力発信		
	し め い 氏名	す い せん だ ん たい こう ぼ く ち ェう す い せん 推薦団体・公募・区長推薦
1	あ べ と し こ 阿部 穂子	ひ よ し 日吉のわッ
2	い と う よ し み ち 伊藤 善通	こ う ぼ 公募
3	お お の か つ ひ こ 大野 勝彦	さい わ い く ぼ ご し かい 幸区保護司会
4	か み や お さ む 神谷 修	く ち ェう す い せん さ ん ぎ ェう 区長推薦(産業)
5	さ の よ し ひ こ 佐野 禎彦	さい わ い く み ん せい い い ん じ ェう い い き ェう ぎ かい 幸区民生委員児童委員協議会
6	た か は し の ぞ み 高橋 希	ひ よ し ェう て ん が い れ ん ぐ ち ェう かい 日吉商店街連合会
7	な か は ら と し こ 中原 敏子	さい わ い く し ェあ かい ふ く し ェう ぎ かい 幸区社会福祉協議会
8	な り か わ し ん い ち 成川 慎一	さい わ い く ち ェう ない か い せ ん ぐ ち ェう かい 幸区町内会連合会
9	ま つ い せ つ こ 松井 節子	さい わ い く ぶ ん か き ェう ぎ かい 幸区文化協会

【 参与(50音順) 】

	し め い 氏名	し ェう ぞ く 所属
1	お だ り え こ 小田 理恵子	か わ さ き し ぎ か い ぎ い ん 川崎市議会議員
2	か ぶ ら き し げ や 鏑木 茂哉	
3	か わ の た だ ま さ かわの 忠正	
4	ぬ ま ざ わ か ず あ き 沼沢 和明	
5	の だ ま さ ゆ き 野田 雅之	
6	や ま だ ま す お 山田 益男	
7	わ た な べ ま な ぶ 渡辺 学	

	し め い 氏名	し ェう ぞ く 所属
1	た な か と く い ち ェう 田中 徳一郎	か な が わ け ん ぎ か い ぎ い ん 神奈川県議会議員